

# 自由が丘地区 市政懇談会資料

令和3年11月28日

## 市政懇談会出席者一覧

役 職	氏 名
市 長	<small>なか た かず ひこ</small> 仲 田 一 彦
副 市 長	<small>おお にし ひろ し</small> 大 西 浩 志
副 市 長	<small>ごう だ ひとし</small> 合 田 仁
教 育 長	<small>おお きた ゆ み</small> 大 北 由 美
総合政策部長	<small>やま もと よし ふみ</small> 山 本 佳 史
総務部長	<small>いし だ ひろし</small> 石 田 寛
市民生活部長	<small>やす ふく しょう じ</small> 安 福 昇 治
健康福祉部長	<small>いの うえ のり こ</small> 井 上 典 子
産業振興部長	<small>よ くら ひで あき</small> 與 倉 秀 顕
都市整備部長	<small>とも さだ ひさし</small> 友 定 久
上下水道部長	<small>うえ だ とし かつ</small> 上 田 敏 勝
議会事務局長	<small>いし だ ひで ゆき</small> 石 田 英 之
消 防 長	<small>はやし かず しげ</small> 林 一 成
教育総務部長	<small>もと おか ただ あき</small> 本 岡 忠 明
教育振興部長	<small>よこ た こう いち</small> 横 田 浩 一

## 地区からの意見・提言

### 自由が丘地区

	意見・提言の内容	回答者
1	意識ある区長・班長が進んで、責任を持って複数年「任を果たしてもらえる」ための三木市・自治会の「SDPs(サステナブル・デベロップメント・パートナーズ)関係」 そのために三木市としての体制づくりについて	市民生活部長
4	「まちづくり条例やガイドラインについて」の進捗状況	
2	住民の見守り支援について	健康福祉部長
3	通学路の安全確保と対策について	教育総務部長
5	「『sakeツーリズム』や山田錦をPRするうえで、志染駅を発着としたツアーを旅行会社と連携し、まずはモニタリングしながら検討する」の進捗状況	産業振興部長
6	「志染駅南北を繋ぐ連絡橋の設置について」の進捗状況	都市整備部長
7	広野自由が丘線の整備の進捗状況について	都市整備部長
8		
9		
10		

市政懇談会 意見・提言に対する回答

地区名	自由が丘地区	
意見・提言	1	意識ある区長・班長が進んで、責任を持って複数年「任を果たしてもらえる」ための三木市・自治会の「SDPs(サステナブル・デベロップメント・パートナーズ)関係」 そのために三木市としての体制づくりについて（自治会あり方検討部会）
(内容)		
区長、班長の業務・・・「負担しか無い」という意識、認識		
↑↓		
<p style="text-align: center;">●地元住民から区長、班長への声・要望●</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・隣の家が夜遅くまで大声でうるさい。何とかして！！</li> <li>・近所の家からBBQの臭いがする。何とかして！！</li> <li>・「野良猫の糞」何とかして！！</li> <li>・空地、空家の伸びに伸びた雑草何とかして！！</li> <li>・路上駐車何とかして！！</li> <li>・その他、いろんな声、意見が寄せられる</li> </ul>		
↑↓		
自由が丘13地区区長の大半が「仕事」をもっている		
↓市への提言		
<p style="text-align: center;">●●三木市が希求する街・・・「住み続けられる市へ」●●</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市が対応してくれる窓口「ONE STOP SERVICE」</li> <li>2. 民間の「お客様相談室」のようにキッチリ回答を出す</li> <li>3. たらい回しをしない（担当者不在の場合でも、市民からの要望内容は聞くようにする）</li> </ol>		
市として、住民の声どのような体制、組織、仕組みを創るか、そして愚直に実行されるか・・・		

意見・提言	4	「まちづくり条例やガイドラインについて」の進捗状況（市民協議会）
<p>昨年度の市政懇談会で、「市より他の市町ではあるが市民協働課のまちづくり条例やガイドラインをつくる中で地域活動の重要性を謳った上で自治会の加入促進を行っている例がある。そういった視点で三木市としてもできないかを含めた上で検討させていただいている」との回答があったが、どうなっているのでしょうか？</p>		
回 答	(担当課) 市民生活部 市民協働課	
<p>自治会は、一定の区域等の地縁に基づいて形成された組織であり、ふれあい活動などをおして住みよいまちづくりや地域の身近な課題解決に取り組んでいる住民自治組織です。自由が丘地区のみなさまにおかれましても、自治会活動にご尽力いただいていることにより、お互いの理解や協力し合う関係性が築かれ、住みやすいまちに繋がっていることと存じます。</p> <p>地域の課題や困りごとへの相談は、市立公民館に配置している地域まちづくり担当職員が担っており、市役所の各所管課との取次ぎなども行っています。地域の課題解決や住みよいまちづくりを地域の皆様と一緒に考え、進めてまいりますのでご相談ください。</p> <p>自治会への加入を義務付ける条例については、昨年度の市政懇談会で回答したとおり制定の予定はしていませんが、自治会活動を含めたまちづくりの後押しとなるようなものとして、市民や自治会等、各主体の役割など、基本的な事項を定めた協働のまちづくりを推進する指針の制定に向けた検討を行っています。指針では、自治会が地域社会において重要な役割を担っていることへの理解や、自治会への加入、活動への参画等により地域社会の発展に努めることなどの規定が考えられますが、多くの市民が必要とされているものとなるよう区長協議会連合会など関係機関との協議を進めてまいります。</p>		

市政懇談会 意見・提言に対する回答

地区名	自由が丘地区	
意見・提言	2	住民の見守り支援について (くらし生活部会)
<p>(内容)</p> <p>(1) 緊急通報システムのサービスを受けられる年齢層幅の緩和 高齢者(65歳以上)に限定せず、一人暮らし等で緊急時の通 報が困難な人を追加して欲しい。</p> <p>(2) 本人の承諾書</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣協力員に鍵を預けることは必須とせず、本人からの承諾書 に『緊急の場合は救急隊員または警察署員の立ち入りを認め る』に変更して欲しい。</li> <li>・家族の同意欄を設ける</li> </ul> <p>(3) 現在のナースコールシステムは大阪ガスセキュリティサー ビスになっているが、民間の見守り事業者のサービスを受ける 場合でも三木市の『緊急通報システム』を利用する場合と同等の サービスに限りまたは範囲で利用料の補助を検討して欲しい。</p>		
回 答	(担当課) 健康福祉部 介護保険課	
<p>(1) 高齢者世帯の増加に伴い、緊急通報システムの対象者の増 加が見込まれます。高齢者が地域や別居家族から目が届きにくく なるので、高齢者の安心と安全の確保を継続するために、対象 を65歳以上にしています。ひとり暮らしの重度障害者の方は、 年齢に関わらずご利用いただけます。</p> <p>(2) 緊急通報システムでは、対象者から通報があった場合には、 コールセンターが、聞きとりを行い、状況によって、救急隊員や 家族または協力員に出動を依頼します。その際、家の中に立ち入 るために、鍵を預かることで迅速に対応ができます。なお、鍵の 預かりが難しい場合は、事前に家の中に入る方法を利用者と協 力員の方で取り決めていただいています。</p>		

(3) 緊急通報システムは、高齢者の安心と安全の確保に加えて、高齢者と地域のつながりを確保し、高齢者を地域社会で支えるという目的があります。一方、契約事業者が、直接本人の安否確認を行う民間の見守りシステムは、その目的に合わないため、補助の対象とはなりません。

また、緊急通報システムの周知については、分かりやすいチラシを作成しましたので、民生委員児童委員、居宅介護支援事業所、在宅介護支援センターに配布し、普及に努めています。

今後とも、緊急通報システム事業を理解いただき、ご協力を賜りますようお願いいたします。

市政懇談会 意見・提言に対する回答

地区名	自由が丘地区	
意見・提言	3	通学路の安全確保と対策について (安全部会)
(内容)		
<p>① 自由が丘小学校区内の西村邸付近の歩道と交差点について、歩道の拡張と車道のフラット化をし、車道に路面標示またはカラー舗装や減速帯等の設置を要望する。また、車線分離標などを使って歩行者の安全確保を図ってほしい。</p> <p>② 自由が丘東小学校裏門前の道路について、路側帯のカラー舗装及び路面標示、減速帯やカラー化をお願いする。</p>		
回 答	(担当課) 教育総務部 教育施設課 都市整備部 道路河川課 市民生活部 生活環境課	
<p>三木市においては、通学路交通安全プログラム(※)を策定しており、その中で通学路の危険個所について検討・対策を行っているところです。</p> <p>歩道の設置(拡幅)については、用地の確保が整えば施工可能ですが、沿道状況等から拡幅・フラット化の対応は困難であると考えます。しかし、危険個所の対策について一度現地にて関係者による立会いを行いたいと考えております。</p> <p>路面標示やカラー舗装等については、視覚的効果となるため、その使い分け等が重要となります。</p> <p>現在、スクールゾーン(※)やキッズゾーン(※)等を含めた、カラー舗装等について検討を進めており、その他の安全対策を含め、どのような対策が効果を発揮するか検討・調整を図っていますのでよろしく申し上げます。</p> <p>※・通学路安全プログラムとは、各学校やこども園などから危険個所を挙げてもらい警察や道路管理者などの関係機関と対策を考える会のこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールゾーンとは、小学校・中学校を中心に安全対策を検討</li> <li>・キッズゾーンとは、幼稚園、保育所、認定こども園を中心に安全対策を検討。</li> </ul>		

市政懇談会 意見・提言に対する回答

地区名	自由が丘地区	
意見・提言	5	『sake ツーリズム』や山田錦を PR するうえで、志染駅を発着としたツアーを旅行会社と連携し、まずはモニタリングしながら検討する」の進捗状況（市民協議会）
<p>(内容)</p> <p>昨年度の市政懇談会で志染駅前活性化の意見提言の中で、市からモニタリングに関しては、やろうと思えばすぐに実行できるものだと思っているとの回答であったが、その後どうなっているのでしょうか。</p>		
回 答	(担当課) 産業振興部 観光振興課	
<p>『sake ツーリズム』のモニタリングツアーとして、市のマイクロバスを利用し、市内の酒蔵を見学、田園風景を見ながらのランチ、吉川温泉よかたんで入浴、山田錦の館で買い物と試飲の後、志染駅周辺の居酒屋で解散するなどのコースを想定していました。</p> <p>しかしながら、何度も繰り返される緊急事態宣言等で酒類提供の制限を余儀なくされているコロナ禍の現状において、実施には至っておりません。</p> <p>また、第6波が予想される中、今後においても『sake ツーリズム』の実施の目途は立っておりません。</p> <p>昨年と同じ回答になりますが、コロナが収束した後に実施を検討してまいります。</p>		

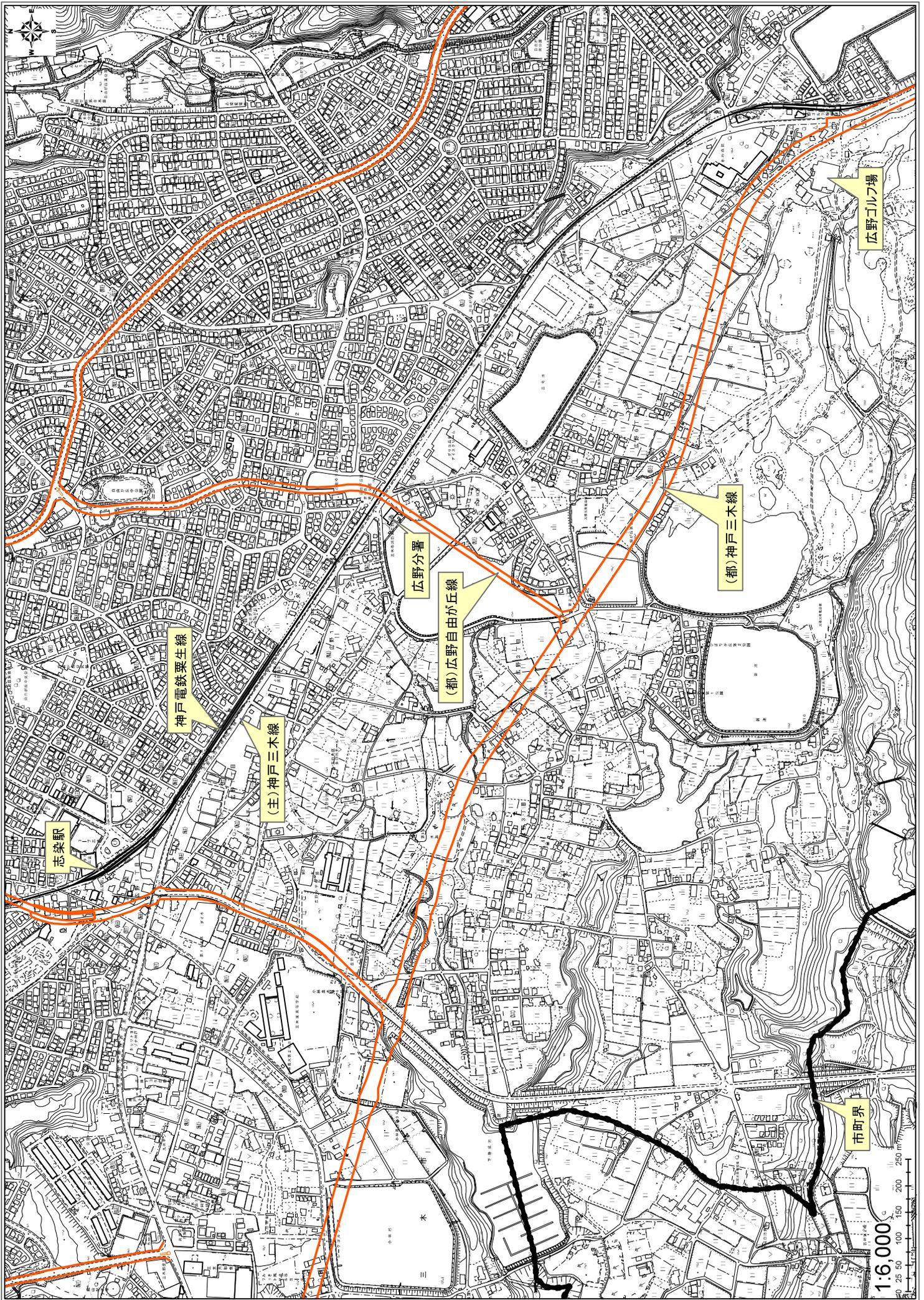
市政懇談会 意見・提言に対する回答

地区名	自由が丘地区	
意見・提言	6	「志染駅南北を繋ぐ連絡橋の設置について」の進捗状況（市民協議会）
<p>(内容)</p> <p>昨年度の市政懇談会で志染駅周辺基本構想では、駅南北の一体利用について検討を行っており、その中で、駅南側へ大型バスおよび自家用車等が寄り付くことができるよう駅前ロータリーの設置、またご要望いただいております、連絡橋について検討している」との回答を得たが、その後の進捗状況はどうなっているのでしょうか？</p>		
回 答	(担当課) 都市整備部 都市政策課	
<p>自由が丘、三木南の両地区から、志染駅前の南北通路陸橋の整備及び志染駅南西側エリアの再開発の要望を受け、志染駅へのアクセス性の改善、地域の生活を支える機能の集積などを視点に、基本構想案の作成を行ってまいりました。</p> <p>主な検討内容は、南北通路陸橋の配置検討、駅南側の駅前広場の検討、駅周辺土地利用ゾーニング等です。</p> <p>この検討案につきましては、本来であれば、皆様にご提示しなければならぬのですが、土地所有者を含めた関係者のご理解をいただくため、時間をかけて丁寧に説明を重ねたいと考えており、今しばらくお時間をいただきますようお願いいたします。</p> <p>また、志染駅周辺における課題として、(主) 神戸三木線の渋滞の改善が必要であり、そのためには、まず、県が事業主体となる都市計画道路神戸三木線の事業化が必要と考えており、事業化に向けて県としっかりと協力をしながら、進めていきたいと考えています。</p> <p>また、市におきましては、今年度(都) 広野自由が丘線の概略設計を業務発注し、(都) 神戸三木線との接続について、実現性や有効性の検証を行っているところです。</p> <p>これらの都市計画道路の整備が進めば、志染駅南側土地利用についても、その整備効果を十分に発揮することができると考えています。</p>		

市としましては、限られた財源の中で地域及び市の発展により良い効果が得られるよう、計画の優先性等の検証を深め、より効率的・効果的に事業を進めてまいりますので、ご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

市政懇談会 意見・提言に対する回答

地区名	自由が丘地区	
意見・提言	7	広野自由が丘線の整備の進捗状況について (市民協議会)
<p>(内容)</p> <p>本年度、1,000万円を予算計上して都市計画道路の広野自由が丘線の概略設計を実施し、神戸電鉄粟生線との立体交差や都市計画道路神戸三木線との接続について、実現性や有効性の検証を行い、必要に応じて都市計画の変更を行うことになっているようですが、現在の状況と見通しはどのようなのでしょうか？</p>		
回答	(担当課) 都市整備部 都市政策課	
<p>(都) 広野自由が丘線につきましては、計画決定後30年以上経過していることから、概略設計を業務発注し、現在の状況にあった最適案の検討とあわせて、(都) 神戸三木線との接続について、実現性や有効性の検証を行っています。</p> <p>その中で、(都) 広野自由が丘線は神戸電鉄と交差するルートとなることから、交差部分については立体構造にする必要があり、その構造について検討を行うとともに、既存家屋への影響を考慮したルートを複数案検討しています。</p> <p>また、ルートや構造の検討結果により、当初計画の変更が必要となれば、都市計画変更の手続きを行うこととなります。</p> <p>なお、事業の見通しにつきましては、(都) 広野自由が丘線は(都) 神戸三木線とあわせて整備を行うことで、十分に効果が発揮される路線であることから、先の、「志染駅南北を繋ぐ連絡橋の設置について」の説明でも申しましたが、(都) 神戸三木線の事業化に向けて、県としっかりと協力をしながら、進めていきたいと考えております。</p>		



<メ モ>

A series of horizontal dotted lines for handwriting practice, consisting of 20 lines.